

蒲書記長 総括答弁

この1年間は、本社総支部独自の6つのサブスローガンのもと、特に業務変革による「働き方改革」について労使一体となり取り組んできた。様々な課題があったが、その都度、組合員の視点に立って課題解決に向け力強く運動を展開することができた。

また、機関紙やSNS等を活用し、組合員への情報展開についても積極的に取り組んだほか、今までの活動に捉われないこと、新たな試みにもチャレンジすることができ、特に分会独自のレクリエーション実施や、分会執行委員会の定例開催など、分会活動の活性化が、目に見えるようになったことは非常にうれしく、改めて組合員皆様へ日頃の各種活動への参画に敬意と感謝を申し上げたい。

「安全」の確立に向けた取り組みについて

福知山線列車事故から12年が経過したが、ご遺族様やご被害者様は、あの事故以降、時計の針は止まったままで、悲しみは癒えるどころか、今もなお苦しみ続けておられる。思想信条に関係なく、加害企業に勤める私たちが、永続的に取り組んでいかなければならないのが、「事故の風化防止」と「安全確立に向けた弛まぬ努力」だ。

事故の風化防止については、事故を経験した組合員自身が当時の状況を忘れ、安全に対する意識が低下し、日々の業務を漫然と遂行することを危惧しなければならない。事故を経験した組合員は、「あのような悲惨で苦しい経験を、後輩にはさせたくない」との共通な想いがある。事故を経験された組合員の皆さんは、その経験を自らの口で後輩に伝えてほしい、本社総支部が隔月で取り組んでいる、現地に赴き手を合わせ、職場や系統を超えた意見交換会により低下した意識を回復させる、「福知山線列車事故を考える集会」にも是非、積極的に参加して頂くことを要請する。

この1年間は振り返ると危険な事象が多発し、本社総支部関係では、大阪電気工事事務所が監督する北陸新幹線延伸に伴う南福井駅構内の工事において、協力会社の社員が全身の8割をやけどするという感電労災が発生した。この事故は、JR側で防ぐことができた労災事故だと考えている。

様々な対策が行われているが、工事再開を急ぐあまり、本質が見え過ぎていないか疑問であり、また同種事故が発生するのではないかと不安でならない。関係主管部、工事事務所、分会組合員と連携を図りながら、またグループ会社の状況などについて情報収集を行い、安全で現場に即した対策になっているか、本社総支部としてしっかり取り組んでいきたい。安全に関しては、鉄道だけでなく食の安全、医療の安全など多岐に渡るので、それぞれの業務において、ことさらに安全に関しては感度を上げた「思考停止しない」取り組みを要請する。

労働協約改訂、将来を見据えた賃金・昇進制度について

17春闘では4年連続のベアを獲得した。18春闘においてもベアに拘った運動を展開するが、9月に入るとすぐに賃金実態調査が始まる。100%回収に向けて、特に約1,000人いる出向者に対する確実な配布と回収を分会の皆様にも是非ご協力を頂きたい。また、代議員の発言にもあったが、中期経営計画、安全考動計画の最終年度であり、組合員の労に答えるべく、一時金獲得に向けて、皆さんの声をしっかりと本部に届けていきたい。

労働協約に関しては、まさに今、皆さんから頂いた意見をもとに会社と議論を重ねているが、7月に開催された定期中央本部大会において、荻山委員長から賃金・昇進制度の見直しについて言及があった。諸先輩

方が手当類、制度等を勝ち取ってきたので、現在では手当の新設や新たな制度新設は非常に難しい状況となっている。

今後、議論が進んでいくと思われるので、現在の課題を解決し、魅力ある新賃金・昇進制度となるよう、本社総支部としても積極的議論に参画していきたい。

「働き方改革」に関する取り組みについて

まだ多くの組合員の皆さんや会社側にも、働き方改革＝イコール＝超勤削減と捉えている方がいる。様々な場面で伝えているが、労働組合は時間外労働が悪いと考えていない。必要な残業は当然あると考えている。しかしながら、特定の部署やグループ、個人に長時間労働の傾向が偏っている事実もある。「働き方改革」の本質は、健康で働きがいを持つためにも、より少ない時間で成果をあげ、余裕のある時は、その時間を家族や自分への投資に使って頂くことだと思っている。

働き方改革について、会社や組合のビジョンが見えない、ビジョンを示せとの声を頂くが、働き方改革の本質を理解すれば、ビジョンは与えられるものではなく、自ら描く物だと気付くはずだ。

是非、組合員一人ひとりが、仕事の進め方を変えていこうという気概と、自らの考動により、魅力ある職場、各人が目標とするワーク・ライフ・バランス達成に向けて、働き方改革を「自分ゴト」として捉え、積極的に取り組んで頂くことを要請する。また、業務量の削減やまだ減らない過度な要求、資料作成については、中央本部や分会とも連携を図りながら、会社と引き続き議論して改善させたい。

皆さんもご存知の通り、昨年度末に本社に労基署が入り、是正勧告を受けた以降、勤怠管理がより一層厳しくなった。この現

状について、組合員の皆さんはそれぞれ思うところがあるだろうが、昔と違って今はこのような時代になったんだとまず認識して頂きたい。まだ、仕事を持ち帰ったり、スタンドアローンのパソコンで業務を行ったりしている実態を組合としても把握している。

ルールとして決められた以上、そのルールを破る行為の非社会性や重要性、今後は罰せられることを認識して頂きたい。

じゃあ業務が回らないじゃないか・・・よく聞かぬが、アサーションスキルを活用しながら上司・部下・同僚とのコミュニケーションをとることが、今まで以上に重要となってくるのではないかと。それでも、どうにもならない場合は、周りの先輩や労働組合を積極的に活用して頂き、取り返しのつかない事象、メンタル不全に陥る仲間を早期に気づき、救うためにも、是非、組合活動の原点である世話役活動を通じて、皆さんも周りを見て仲間の状況に感度を上げて頂きたい。

政治への参加の取り組みについて

一昨年実施したアンケート結果からJR入社世代の政治への関心が低いことが分かっている。私たち鉄道運輸産業は、政治との関わりが深く、特に本場で働く組合員にとっては、より身近に感じるのではないかと。私たちの政策課題を解決し、会社を健全に発展させていくためにも、運動の理念や政策などに理解を示し、指示・賛同する議員との関係強化をしていかなければならない。

今後も組合員とその家族の政治活動への理解を広げながら、「交通政策をすすめる会」への加入促進に向けて、各分会での加入行動を要請する。

本日頂いた声をしっかり受け止め本社総支部は、前を向いて奮闘する。是非皆さんにも将来を意識した考動と満場一致の賛同をお願いし、総括答弁としたい。

お知らせ

近畿ろうきん梅田支店が移転します!



★現店舗ATMは2017年11月1日(水)20:00で終了させていただきます。
★店舗移転に伴い、2017年11月2日(木)の平日時間外相談(15:00~19:00)は中止させていただきます。

2017年9月19日(火)梅田スカイビルタワーイースト1階に、ろうきんATMが先行オープン! (ご利用時間7:00~23:00)

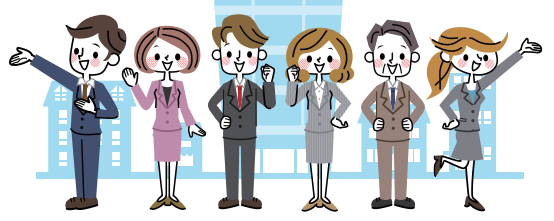
近畿労働金庫(近畿ろうきん)梅田支店は梅田スカイビルに移転いたします。

現・梅田支店での営業は、2017年11月2日(木)15時をもって終了いたします。

新店舗 2017年11月6日(月)9:00オープン



店舗移転に関するお問い合わせ先
2017年11月2日(木)15時まで
現・梅田支店 (店番号:582)
〒530-0027 大阪市北区堂山町1-5
三共梅田ビル1階
TEL.06-6361-2331
2017年11月6日(月)9時以降
新・梅田支店にてお伺いいたします。



近畿労働金庫 梅田支店 (店番号:582)
新店舗所在地
〒531-6005 大阪市北区大淀中1-1-88
梅田スカイビルタワーイースト5階
TEL.06-4796-2777
FAX.06-4796-2770

※店舗移転により、住所・電話番号・FAX番号が変更となりますので、ご注意ください。

すべての勤労者の笑顔のために
近畿ろうきん
http://www.rokin.or.jp

★新店舗は、梅田スカイビル タワーイースト5階です。

詳しくは本紙6頁の広告をご覧ください。